

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年12月2日 (2010.12.2)

【公表番号】特表2010-511756(P2010-511756A)

【公表日】平成22年4月15日 (2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2009-539686(P2009-539686)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

C 0 8 F 210/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/08

C 0 8 L 23/10

C 0 8 F 210/06

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月18日 (2010.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

重量 % で、

(A) プロピレンホモポリマー、又はプロピレンとエチレン及び $\text{CH}_2 = \text{CHR}$ の - オレフィン (式中、 R は炭素数 2 ~ 8 のアルキルである) から選択される 1 種類以上のモノマーとのコポリマー (ここで、コポリマーは 8 % 以下の 1 種類又は複数のモノマーを含む)、或いはかかるポリマーの組み合わせ 10 ~ 25 % ;

(B) エチレンと、 (i) プロピレン、又は (i i) $\text{CH}_2 = \text{CHR}$ の - オレフィン (式中、 R は炭素数 2 ~ 8 のアルキル基である)、或いは (i i i) これらの組み合わせ、並びに場合によっては少量のジエンとのコポリマー (54 ~ 65 % のエチレンを含む) 75 ~ 90 % ;

を含み、いずれも (A) + (B) の合計重量に対する、コポリマー成分 (B) の含量 B と室温においてキシレン中に可溶のフラクション X S との重量比 : B / X S が 1 . 50 以下である、ポリオレフィン組成物。

【請求項 2】

いずれも (A) + (B) の合計重量に対する、室温においてキシレン中に可溶のフラクション X S と全エチレン含量 C_2 との重量比 : X S / C_2 が 1 . 15 以上である、請求項 1 に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項 3】

X S フラクションの固有粘度 [] が 3 d L / g 未満である、請求項 1 又は 2 に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項 4】

同じ成分 (A) 及び (B) を同じ割合で含むが 3 d L / g 以上の X S フラクションの粘度 [] を有する前駆体組成物を分解にかけることによって得られる、請求項 3 に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項 5】

少なくとも２つの逐次段階を含み、第１段階を除くそれぞれの段階において、前段階で形成されたポリマー及び前段階で用いた触媒の存在下で運転する別々の次段階で成分（Ａ）及び（Ｂ）を製造する、請求項１～４のいずれか１項に記載のポリオレフィン組成物を製造するための重合方法。

【請求項６】

請求項１～４のいずれか１項に記載のポリオレフィン組成物を含む製造物品。

【請求項７】

押出又は射出成形によって製造される、請求項６に記載の製造物品。

【請求項８】

シート、フィルム、及び自動車部品の形態の、請求項６又は７に記載の製造物品。